

特別史跡キトラ古墳壁画保存管理施設の設計概要について

1. キトラ古墳の整備等に関する基本方針 (H24. 3. 29 第9回検討会にて)

2. キトラ古墳壁画の保存・活用

(1) 基本的な考え方

①壁画の保存方針

恒久的な保存を図る観点から、環境を制御しながら安全に保存管理することができるよう、当面の間、石室外の適切な施設で保存管理しながら公開するものとする。

②壁画の保存施設

- ・保存管理の場所については、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区に設置する「体験学習館(仮称)」において、文化庁と国土交通省等の関係機関の連携を図りながら進めていく。
- ・保存管理・公開施設に求められる設備・条件等については、「文化財公開施設の計画に関する指針(平成7年文化庁)」の考え方や意図、内容等を十分反映した上で、キトラ古墳壁画の諸事情に対応する。
- ・壁画は、原則として石材単位で再構成し、保存管理を行う。
- ・壁画の保存・展示・修理・メンテナンスの機能を一体とする。

③壁画の展示活用

- ・壁画の保存を最優先とした上で、可能な限り、展示活用を実現する。
- ・壁画の展示活用を実現するに当たっては、「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項(平成8年文化庁)」に準じながらも、キトラ古墳という文化財を体験的に理解できるような展示方法を検討する。

(2) 壁画の保存・活用に関する具体的な内容

①壁画の保存管理について

- ・壁画は、原則として石材単位で再構成し、保存管理を行う。
- ・壁画の保存管理については、関係機関と連携しつつ、文化庁が主体となって行う。
- ・壁画の保存は収蔵庫において保存管理する。

②壁画の活用について

- ・壁画を保存している収蔵庫を外部から覗く形態の公開とする。
- ・公開の際には、収蔵庫内の壁画を公開スペースに近接し、覗くことができるようにする。
- ・収蔵庫の一部を突き出した上でガラス張りにし、真上から覗くことができるようにする。

2. 施設の概要

- ・建設予定地 奈良県高市郡明日香村 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区内
- ・施設面積 約490㎡（約2500㎡）
- ・主要諸室 壁画保管室・出土品保管室・展示室・学芸室・機械室・トラックヤード
*（ ）内は国交省・文化庁の施設全体の延べ床面積

3. 設計上の特徴

（1）壁画保管室等の室内環境

- ・壁画保管室・出土品保管室は、全て二重構造（床・壁・天井）にするとともに、空調空気を二重構造内（床・壁・天井）に循環させることで、室内環境を一定に保つ。また、停電等が発生した場合にも、建物の性能として壁画保管室及び出土品保管室の空気環境が保持できるようにする。
- ・壁画保管室・出土品保管室内の温度は、年間22～24℃、相対湿度は年間50～60%とする。
- ・照明設備は、紫外線を出さない、演色性の高いLED照明器具を採用し、省エネ性・メンテナンス性を向上させる。
- ・壁画保管室・出土品保管室内の照明器具等設備機器は、天井裏からのメンテナンスとし、壁画の真上には設置しない。

（2）壁画等の公開

- ・展示室は、ロビー空間からの外光が開口部から入らない工夫をするとともに、壁画の見やすさと来館者の安全性を考慮した照度の設定を行う。
- ・壁画展示台については、角度調整が可能な仕様とし、傾斜をつけた展示を可能にし、来館者の見やすさを高める。
- ・古墳から出土した遺物などは、展示室側の壁付き展示ケース内で展示する予定であり、エアタイト性能を有するケースの仕様とする。

（3）防火・防犯対策

- ・建物全体はスプリンクラー消火設備を設置しているが、壁画保管室、出土品保管室、展示室及び二重構造（床・壁・天井）内については、不活性ガス消火設備を採用する。
- ・壁画保管室のガラスには、防犯性能と視認性を両立する“高透過合わせガラスと高透過ガラス”の複層ガラスを採用する。

(4) 防虫・防黴対策

- ・防虫対策については、開口部の仕様・設備等に配慮し、必要に応じて気密性能の高いエアタイト扉にするとともに、2段階の防虫バリアを設定（文化庁エリアの外周／壁画保管室・出土品保管室の外周）することで、壁画保管室と出土品保管室には害虫等を入れない工夫をする。
- ・二重構造（床・壁・天井）内の確認・メンテナンスを可能にし、IPM の観点から日常的管理の容易性に配慮する。
- ・来館者の動線上は、段差のないバリアフリーとするが、トラックヤード・風除室・前室など外部から建物内にアプローチする場所は、200 mmの段差を設け、虫の侵入を防ぐ。

(5) 地震への安全性の確保

- ・本施設が耐震構造となっているため、壁画展示台には免震に必要な「支承」「復元」「減衰」の機能を持つ免震装置を採用する。免震装置は展示台と一体となった設計とし、移動を可能にし、必要な性能を確保しつつ、高精度・軽量化を実現する。

4. 施設設置のスケジュールについて

平成25年度

施設工事準備

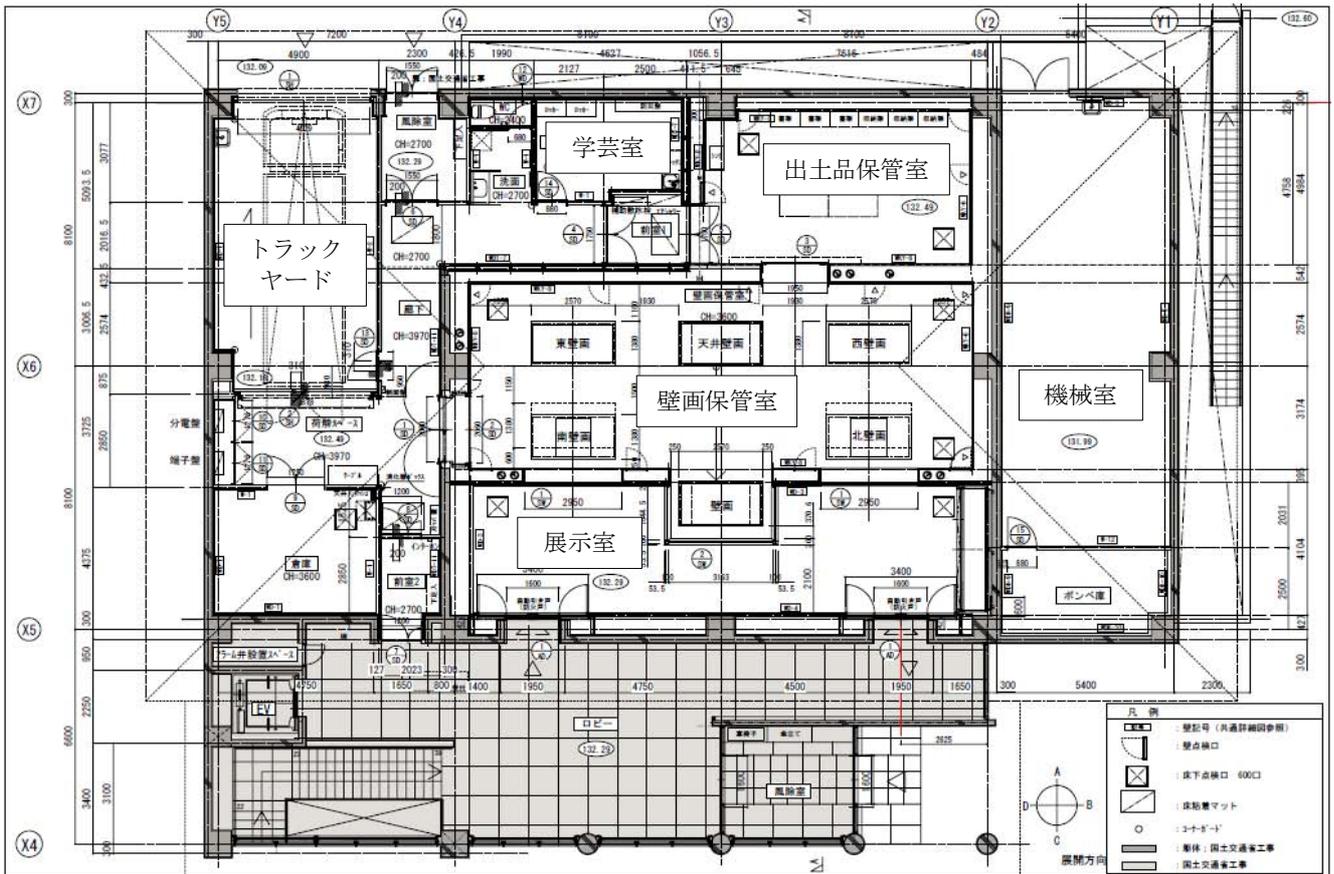
平成26年度～27年度

施設工事 2カ年

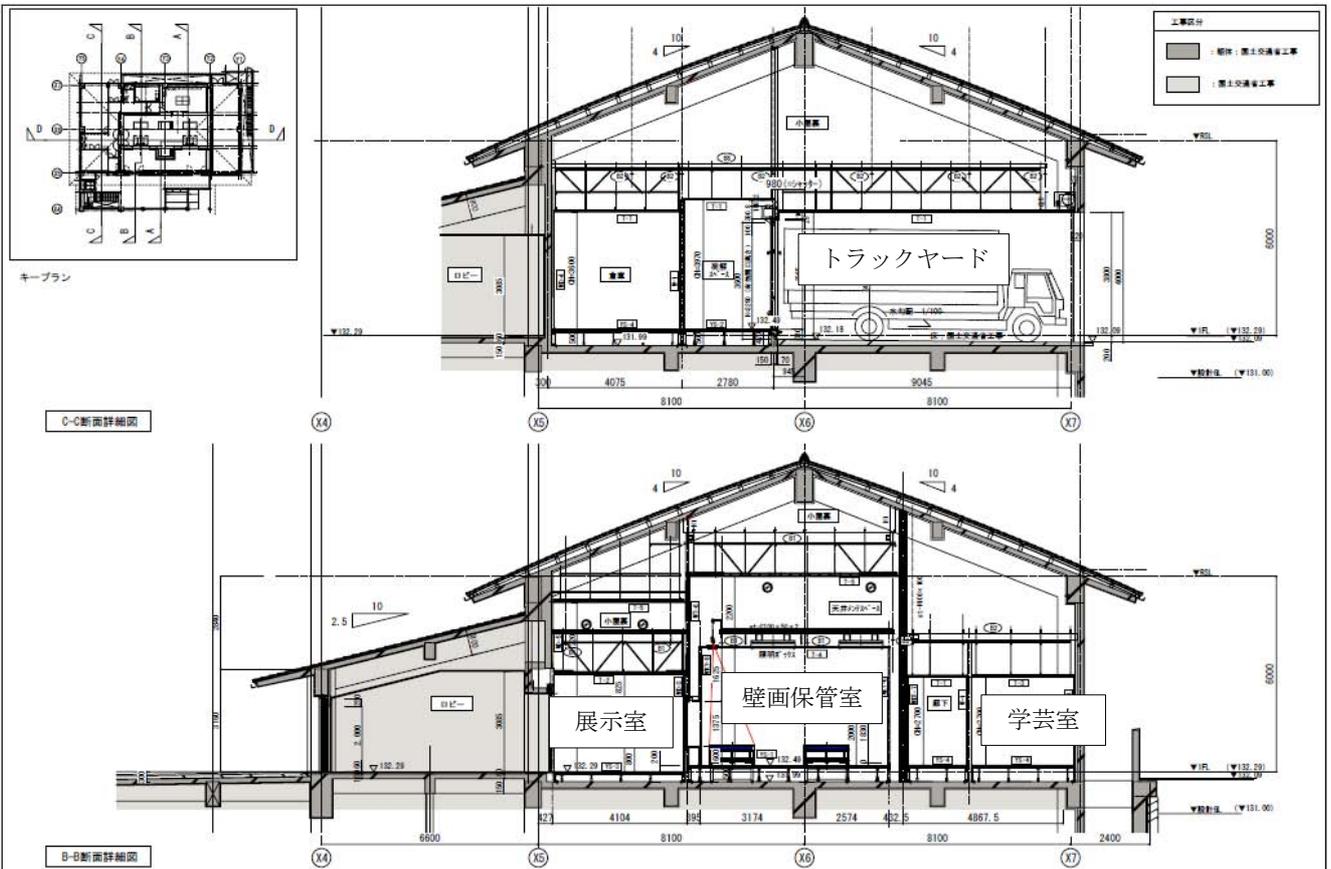
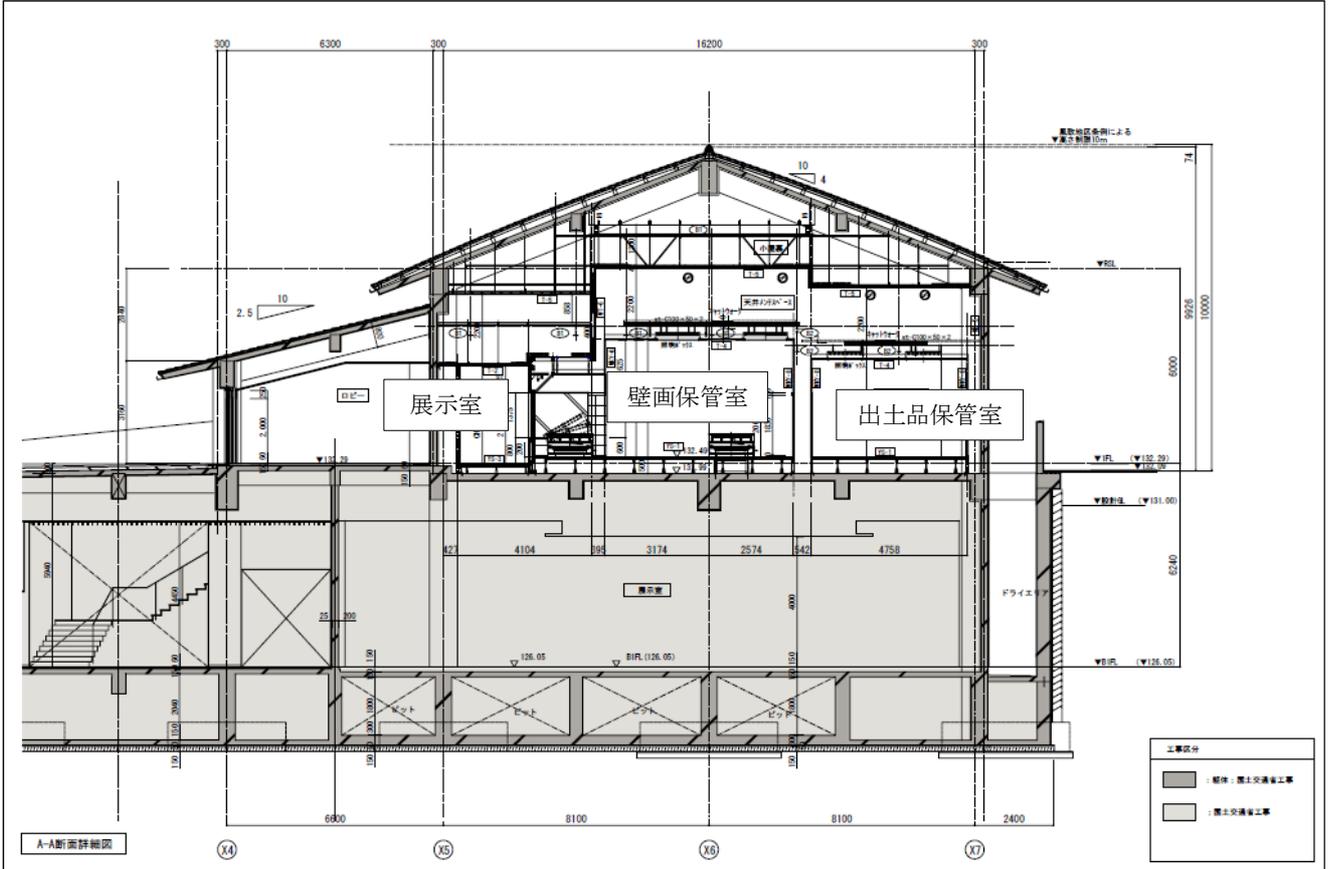
平成28年度～

供用開始

施設平面図



施設断面図



空間イメージ

■全体俯瞰パース



■展示室内透視図-1



■展示室内透視図-2



■壁画保管室透視図

